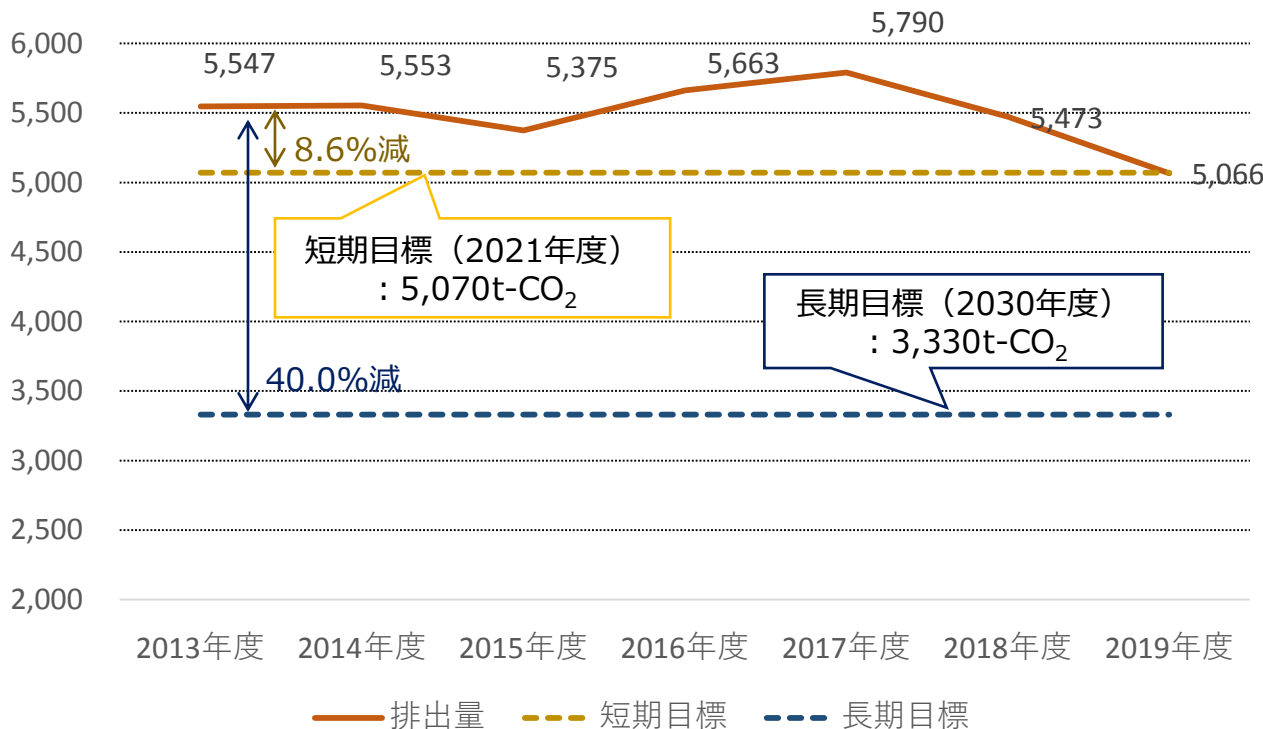


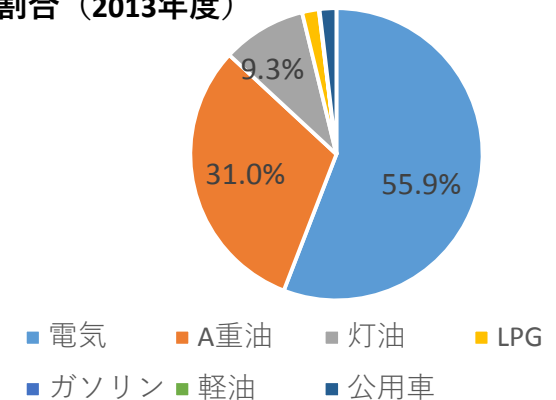
2019（令和元）年度温室効果ガス排出量結果報告

- 2019（令和元）年度の温室効果ガス排出量は、基準年である2013年度の排出量に比べ8.7%減の5,066t-CO₂となり、短期目標を下回る結果となりました。しかし、記録的暖冬や、新型コロナウイルス対策による休館、休校などによる影響も大きいものと考えられます。
- 2019（令和元）年度の温室効果ガス排出量は、電気による排出量が最も大きく、次いでA重油、灯油による排出量が大きくなっています。
- 電気及び灯油による排出量は概ね横ばいとなっていますが、A重油による排出量が大きく減少しました。
- 電気の消費量は増加していますが、1kWあたりの排出量の低い電気の購入や、東北電力の1kWhあたりの排出量の減少により、排出量としては横ばいとなっています。
- 長期目標の達成のためには、引き続きA重油及び灯油の消費量を削減するとともに、電気の消費量を減らす取組が必要です。

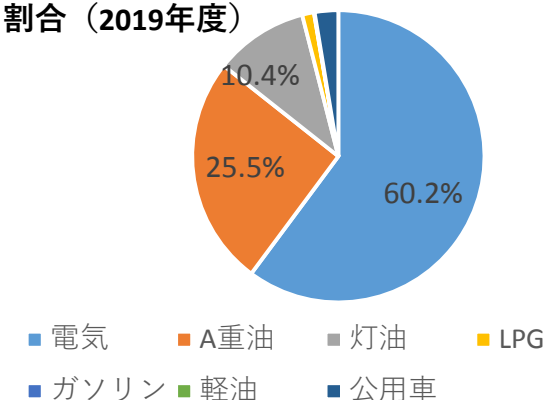
年度別温室効果ガス排出量の推移



排出割合（2013年度）

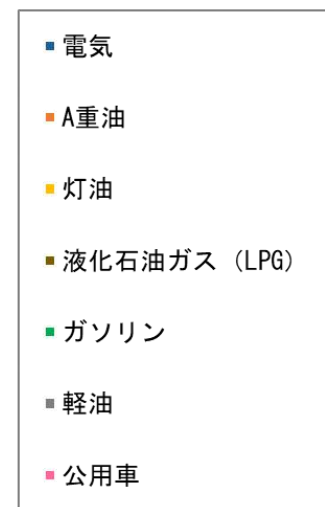
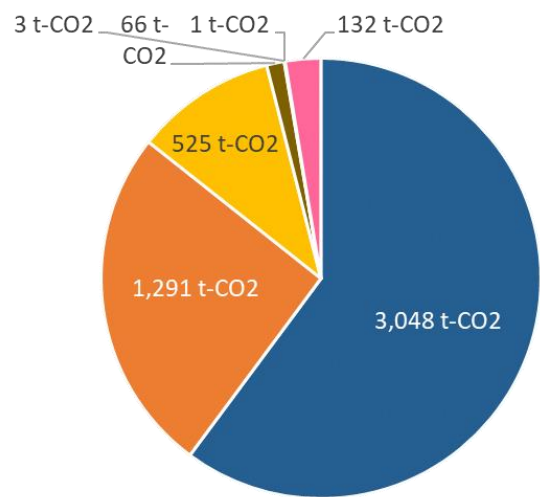
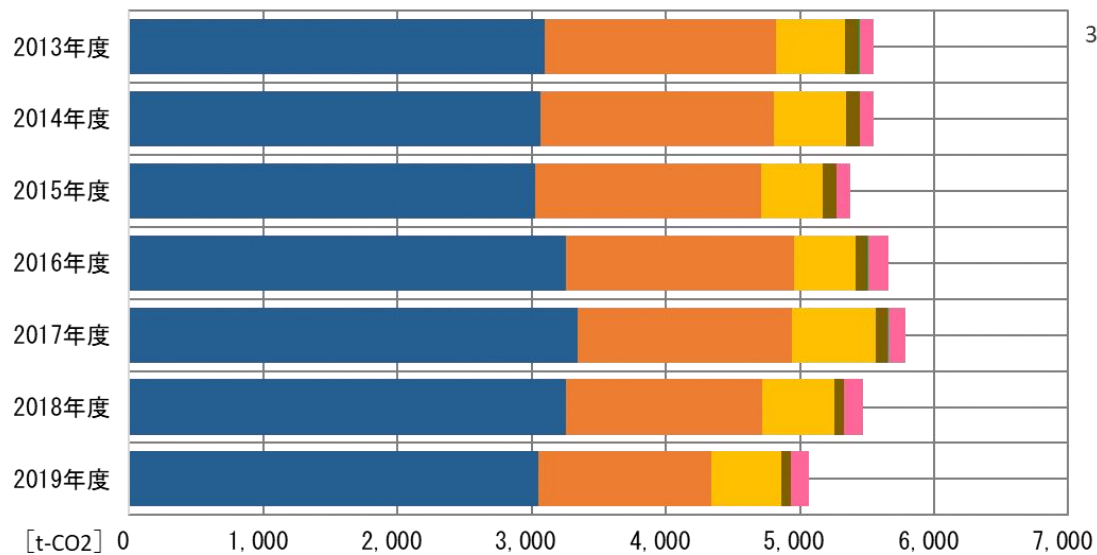


排出割合（2019年度）



2019（令和元）年度温室効果ガス排出量結果報告

	温室効果ガス排出量							
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	液化石油ガス (LPG)	電気	公用車	合計
2013年度	4.2	517.2	0.1	1,720.7	103.2	3,099.5	102.5	5,547
2014年度	5.3	536.4	0.5	1,743.1	101.1	3,062.7	104.2	5,553
2015年度	3.5	460.2	0.0	1,685.6	98.0	3,026.1	101.3	5,375
2016年度	3.7	460.4	0.1	1,702.3	85.7	3,255.5	155.7	5,663
2017年度	4.5	622.6	0.2	1,601.7	90.2	3,338.7	132.0	5,790
2018年度	3.8	536.2	0.1	1,462.5	70.3	3,259.2	140.8	5,473
2019年度	3.0	525.4	0.7	1,290.7	65.8	3,047.8	132.3	5,066



■ 電気 ■ A重油 ■ 灯油 ■ 液化石油ガス (LPG) ■ ガソリン ■ 軽油 ■ 公用車